

／芸術の秋到来！現役高校生の「読書実態アンケート 2022」／

82%が活字に触れ、月の平均読書時間は8時間！

本・漫画・雑誌に使う月平均額は「1,410円」と、お小遣いの約4分の1を占める

「読む」手段が増え、紙 or 電子で読みたいジャンルをうまく使い分ける傾向

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部の高中生エディター&公式LINE登録者を対象に“読書”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220905000001/?vos=scrmot00026>

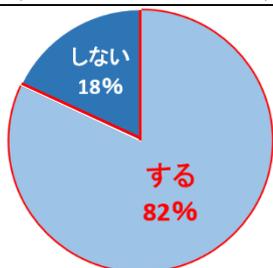
■若者の“活字離れ”は大人の思い込み！現役高校生にとって“本”を読むことは、リフレッシュ方法の一つ“読書”と言えば、本・漫画がメイン。情報収集は雑誌よりもSNSが主になってきている傾向

今の現役高校生は、動画サイトやSNSと活字以外の娯楽にも多く恵まれていますが、今回は秋にちなみ読書に関して高校生1,000人に聞きました。すると、約8割が本や漫画、雑誌を含む活字に触れているという結果に。その内訳を見ると、“本”が72.4%で1位、“漫画”は72.3%で2位、3位は“雑誌”で34.1%となりました。最も文字に触れる“本”が1位で、高校生は“活字離れ”していないと言ってもよいのではないのでしょうか。なお、SNSが活発化していることもあり、情報収集的な意味合いもある雑誌は手に取られる機会が減っているのかもしれない。

また、月間の平均読書時間は、「8時間」で、受験勉強に追われ自由時間が減る高校生にとって決して短くない時間であることが浮き彫りに。さらに、月に本や漫画、雑誌に使っている平均金額は「1,410円」となり、お小遣いの平均金額「5,582円」(※1)の約4分の1を占めていることが分かりました。宿題や課題のイメージから義務的と思われるがちな、“本”に絞って読む目的を聞くと、1位「リフレッシュ」、2位「ただただ好きだから」、3位「現実逃避したい」がTOP3に入り、楽しみな息抜きとして読書に向き合っている様子です。

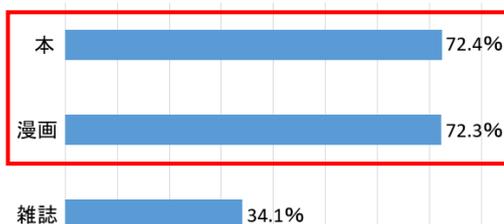
(※1)2022年6月15日に発表した「高校生お小遣い実態調査2022」より

<高校生の読書率>
(本・漫画・雑誌を含む)



<単一回答/ n=1000>

<読書の内訳>



<複数回答/ 読書をする n=820>

<“本”を読む目的 TOP5>

順位	本を読む目的	割合
1	リフレッシュ	78.0%
2	ただただ好きだから	66.9%
3	現実逃避したい	38.8%
4	学校で学べないことを知りたい	20.1%
5	将来の夢を探するため	17.0%

<複数回答/本を読む n=601>

■編集長コメント

**意外と「活字好き」な現役高校生は、意外と「現物志向」でもあった！
読破の達成感、部屋のインテリア etc. 本は「モチベUPアイテム」の一つ**



『スタディサプリ進路ブック』

編集長
仲井 美夏
(なかい みか)

“現役高校生は活字離れしていて動画好き”、そんな大人の思い込みを覆す結果となった今回の調査。もうひとつ分かった意外な事実は、「本を購入する高校生」の多さ。スマホで読んでいるのか？と思いきや「電子書籍は目が疲れる」(高1男子/北海道)という理由から、多くの高校生が「現物志向」である様子も伝わってきました。さらに面白いのは、自分の“モチベーションUP”を意識して、あえて現物を購入しているという声が多いこと。「自己啓発本は忘れた頃に読んで内容を再確認できる」(高3男子/兵庫県)、「好きな著者の本集めはうれしいし、本棚に並べると優越感に浸れる」(高1女子/和歌山県)と、好きなものを集める楽しさ、うれしさで充実感を味わっている様子。ジャンル別の傾向として、小説はインテリア要素、自己啓発本は繰り返し読むため…という特徴がありました。

読書中は物語に没頭して「リフレッシュ」しながら、紙ならではの「質感」「匂い」「めくるわくわく感」を堪能しつつ、読後は部屋に飾って気持ちを上げる…無料で読めるものも多い中、買うからには「現物をとことん味わい尽くす」のが今の高校生の読書の流儀のようです。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【アンケート概要】

- 調査時期：2022年8月16日（火）～2022年8月18日（木）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター/公式LINE登録者）
- 有効回答数：1,000件（男子314件、女子686件）
- 調査実施機関：株式会社リクルート

■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

■“スタサプ編集部”について

全国3,000人以上の現役高校生からなる「スタサプ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の雑誌『スタサプ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は「#高校生なう」の下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20220905000001/?vos=scrmot00026>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>